

学校教育だより

令和3年 11月26日

第24号

発行 厚沢部町教育委員会

こころ豊かに学び、厚沢部町の未来を拓く人を育みます

11月2日、厚沢部小学校公開研究会開催

北海道教育委員会指定のプログラミング教育事業が3年目となる厚沢部小学校において、このたび公開研究会が開催されました。

管内の教職員が多数参加して行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のために参加者を縮小し、町内の教職員及び経験2年の初任教職員約40名の参加者による開催となりました。

檜山教育局長をはじめとする大勢の方々にお越しいただき、とても熱のこもった研究会となりました。

外国語活動(3年)と社会科(6年)の公開授業後、プログラミング教育や1人1台端末による授業づくりについて協議し、ICTを活用した効果的な授業の在り方について研修を深めました。

協議後、北海道教育大学旭川校准教授の山中謙司氏が、「育成を目指す資質・能力と個別最適な学び・協働的な学び」と題し講演されました。

端末機器の活用は、子どもたちが未知の状況にも対応できる真に必要な力を身に付けさせる目的と視点を持つことの重要性など、大変貴重なお話を聞くことができました。

今後の更なる実践の向上につながる大変充実した研究会となりました。



3年 外国語活動

色や形など、欲しいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しむ学習。



6年 社会科

デジタルとアナログのよさを活かし、開国後の世の中の変化を意欲的に学ぶ児童。

プログラミング教育

＜小学校：令和2年度から必修＞

コンピュータは人が命令を与えることで動作します。命令が「プログラム」であり、命令を与えることが「プログラミング」です。

「プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けさせるための学習活動」を計画的に実施します。



文科省のGIGAスクール構想における環境整備状況



デジタル教科書：紙の教科書と同じ内容をタブレット端末等で表示できるようデジタル化したものです。表示を拡大したり書き込んだり等、機能の効果的な活用で新たな学びが実現。

令和2年度よりICT環境の整備を進めてきました。整備の状況は次のとおりです。

- ◇児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備して1年が経過。導入端末は、小学1～4年生が「Ipad」、小学5年生～中学生が「Windows」を使用。
- ◇各校のインターネット回線を整備・増強。
- ◇各校に電子黒板やデジタル教科書を導入。
- ◇教育支援のためのソフトも導入。
(ロイロノート、Office365)

児童会と生徒会の子ども会議に向けて

11月29日、厚沢部中学校において中学校生徒会と3校の小学校児童会による子ども会議が行われます。

この会議では、小中学生のスマホ・タブレットの所持・使用が高まっていることから生活習慣の乱れやトラブル等が懸念され、このことを子供たち自身が身近な問題と捉え、スマホ・タブレット使用のあり方を考えることを目的に実施します。

会議実施に先駆け、10月29日、中学校生徒会のスマホ・タブレットのルールづくりの取組をオンラインで各小学校児童会へ紹介しました。交流の日までに各小学校児童会では、スマホ・タブレット使用について話し合われることになります。



無事、修学旅行へ行ってきました！



新型コロナウイルス感染状況によって実施時期や行程の計画変更を余儀なくされた小中学校の各修学旅行でしたが、無事安全に実施することができました。児童生徒の元気な様子を是非各校のホームページでご覧ください。

厚沢部中学校修学旅行

生徒 3年生 24名
期間 11月11～14日
行先 東北方面：青森・秋田・岩手県
(男鹿、狹鼻溪、中尊寺、田沢湖等)

小学校3校合同修学旅行

児童 6年生 27名
期間 11月18～19日
行先 青森県
(弘前、浅虫、三内丸山遺跡等)